

子育て講座 聖書から理解する子育てについて

「自由」

本日の聖書の言葉

イザヤ書 5 : 8 「災いだ、家に家を連ね、畑に畑を加える者は。お前たちは余地を残さぬまでに、この地を独り占めにしている」。

マタイ 22 : 39 「隣人を自分のように愛しなさい。」

1. 誰もが持つ自由を求める心

人間は成長の段階で必ず「自由」を求め、様々な束縛から解放を求めます。

例えば皆さんは思春期に、こんな事を言わなかったでしょうか？

「もう中学生なんだからお父さん、お母さんの言う通りにはしない。色々な事を自分で決定する。どこに遊びに行ったって良いじゃないか、お父さん・お母さん干渉しないで欲しい」。

2. 自由を求める事の落とし穴

自由を求める気持ちは、人間が成長し、親から自立する段階において大切な事です。しかしここには大きな落とし穴があります。ここには「私の自由」、「私の自己主張」、「私が」、「私が」という思いがあります。そこには、自分以外の人、周りの人が目には入らなくなりがちです。(学校によくよせられるクレーム)

・電車の中で、大きな音で音楽を聴く事。電車の中で友達と大きな声で話す事。狭い道を友達と横並びで歩く事。

この様な「自由」って、少し変だと思いませんか。自分のしたい放題、自分のやりたい放題。相手が困っていてもお構い無し。相手も自分と同じ人間です。私には自由があって、相手には自由がない。こんな事が本当の「自由」なのでしょうか。

3. 聖書の民イスラエル

彼らは長い間、自らの土地を得る事の出来なかった遊牧の民であった。その厳しい生活の中で、彼らは仲間と親密に関り、常に力を合わせながら厳しい歴史を乗り越えてきた。しかし、彼らが定住し農耕生活をはじめ、生活が安定すると彼らは仲間と力を合わせる必要がなくなった。次第に彼らは自らの「自由」を謳歌し、弱い者を踏みつける様になった。

4. 本当の自由とは

人間が束縛や拘束から逃れるために「自由」を求める心は非常に大切な事。しかし、それを過度に求めるならば、他者の「自由」を侵す事となる。子供の成長の中で他者の存在を無視し、自分の「自由」を謳歌しようとする事が必ずある。その際に、その事が如何に誤りであるのかを子どもたちに伝える事は非常に重要な事である。

・煽り運転

子育て講座ご案内

皆さん育児に悩みを抱えていませんか？子育てに関して悩んでいませんか？子育て以外にも、様々な悩みを持っていませんか？私たちと一緒に聖書を読んでみませんか？



聖書は信仰の書であると共に、苦難の歴史を歩んできたイスラエルの民の様々な知恵が記されています。その中には苦難の中にいま置かれている人々に生きる勇気と希望を与えてくれる言葉がたくさん含まれています。だからこそ聖書は過去から現在まで世界の中で最も読まれている書物なのです。

どうぞ関心を持たれた方は、子育て講座に参加して下さい。聖書の話、また育児やそれ以外の悩みを、皆さんよりも子育ての先輩である私たちと分かち合いませんか。

時 : 2019年9月26日(木) 13時～

場所: 飢肥教会 礼拝堂

